リーディングDXスクール事業　【実践事例】　吉川市立東中学校（埼玉県）

【取組内容③】児童・生徒の日常的な心の変化を捉える心の健康観察のアプリの活用

目　標

「すべての子どもたちが輝く」の市の思いを実現するために児童・生徒の心の変化を捉える仕組みをICT活用で構築する。さらにそのデータ活用のシステム化に取り組む。

吉川市においても小・中学校における「不登校」が喫緊の課題である。その対策の一環としてICTを活用していく。

そこで…

普段の子供たちの心の状態を少しでも把握できるようなICT端末を活用し「不登校サイン」やその他「友人関係」や「学校への不安」などを素早くキャッチし、そのデータを共有するツールがあれば、教職員の児童・生徒に対する指導の手助けになるのでは、と考えた。

心の健康観察アプリ

心の状態を4種類に分けて表示。Googleフォームで投稿したら回答する。
登校した回答はスプレッドシートに集計され、心配な回答は色を付けて表示される。
また、「先生に伝えたいことがある」欄を設け、記述しなくても心配事を教員に伝えられるようにしている。

心の健康状態の回答はスプレッドシートで毎日蓄積されていく。

「つらい」と回答した生徒に対して声かけすることができた。

このデータから児童・生徒の実態把握につながる。今後は、教職員への通知機能が望まれる。